

平成25年第5回片品村議会定例会会議録第2号

議事日程 第2号

平成25年6月13日（木曜日）午前10時00分開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 議案第36号 平成25年度片品村一般会計補正予算（第1号）について
- 日程第 3 議案第37号 平成25年度片品村営観光施設事業特別会計補正予算（第1号）について
- 日程第 4 閉会中の継続調査の申し出について
- 日程第 5 字句等の整理委任について

本日の会議に付した事件

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 議案第36号 平成25年度片品村一般会計補正予算（第1号）について
- 日程第 3 議案第37号 平成25年度片品村営観光施設事業特別会計補正予算（第1号）について
- 日程第 4 閉会中の継続調査の申し出について
- 日程第 5 字句等の整理委任について

会議録1号用紙

片品村議会会議録			第 2 日
平成 2 5 年 6 月 1 3 日			
出席議員 1 4 名		欠席議員 名	欠員 名
第 1 番	星 野 栄 二		(出 席)
第 2 番	梅 澤 志 洋		(出 席)
第 3 番	星 野 精 一		(出 席)
第 4 番	飯 塚 美 明		(出 席)
第 5 番	千 明 道 太		(出 席)
第 6 番	星 野 逸 雄		(出 席)
第 7 番	今 井 功		(出 席)
第 8 番	戸 丸 廣 安		(出 席)
第 9 番	星 野 千 里		(出 席)
第 1 0 番	笠 原 耕 作		(出 席)
第 1 1 番	高 橋 正 治		(出 席)
第 1 2 番	星 野 育 雄		(出 席)
第 1 3 番	星 長 命		(出 席)
第 1 4 番	入 澤 登 喜 夫		(出 席)

説明のために出席した者の職氏名

村 長	千 明 金 造
副 村 長	萩 原 重 夫
教 育 長	星 野 準 一
総 務 課 長	桑 原 護
住 民 課 長	吉 野 耕 治
保 健 福 祉 課 長	星 野 孝 俊
農 林 建 設 課 長	金 子 賢 司
むらづくり観光課長	木 下 浩 美
教 育 次 長	佐 藤 八 郎
会 計 管 理 者	千 明 建 太 郎
給食センター所長	星 野 一 男

事務局職員出席者

事 務 局 長	大 竹 光 一
主 査	金 子 小 百 合

議長（飯塚美明） 本日の会議を開きます。

午前10時00分 開会

日程第1 会議録署名議員の指名

議長（飯塚美明） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって、1番 星野栄二君及び2番 梅澤志洋君を指名します。

日程第2 議案第36号 平成25年度片品村一般会計補正予算（第1号）について

日程第3 議案第37号 平成25年度片品村営観光施設事業特別会計補正予算（第1号）について

議長（飯塚美明） 日程第2、議案第36号 平成25年度片品村一般会計補正予算（第1号）についてから、日程第3、議案第37号 平成25年度片品村営観光施設事業特別会計補正予算（第1号）についてまでの、以上2件を一括議題といたします。

説明が終わっておりますので、これから質疑を行います。

まず、一般会計について質疑を行います。

質疑は、ありませんか。

7番（今井 功） はい。

議長（飯塚美明） 7番 今井功さん。

7番（今井 功） 7番。

村長にお伺いいたします。

平成25年度片品村一般会計補正予算（第1号）について、16ページにあるように、今回の補正予算で、片品小学校の設計委託料や解体設計委託料が増額されました。今年、設計を行い、来年度からいよいよ工事が始まります。また、来年2月には全中スキー大会、翌年には国体と大きな事業が数多く控えていますが、片品村長の任期は今年11月12日までと思いますが、こうした事業を引き続き自ら実施する予定はあるのでしょうか、お聞きいたします。

議長（飯塚美明） 村長 千明金造さん。

村長（千明金造） はい。

今井議員の質問にお答えさせていただきます。

ご存じのとおり、平成26年度から小学校の建設が始まるわけではありますが、その以前について少しお話をさせていただきます。

片品村は、私が就任した当時は、まさに財政は破綻に近い状況でありました。そして、私に与えられた使命は、この財政の立て直しにあると、そのように考えて、私自らも含めて徹底して職員と無駄を省き、そして行財政改革を進めてまいりました。中でも、村民の方々に対しては、可能な限り低負担高福祉の村政運営をするために、事業においては、国や県、そうしたところの補助金や助成金を活用して、取り組んでまいりました。そして、職員、議会、村民の方々のご理解とご協力によりまして、現在では、破綻寸前に近い財政も、一般家庭で言う貯金でありますけれども、財政の全てを合わせますと20億を超えるまで、財政が健全化をしてまいりました。そうしたことから、今回の小学校の建設、あるいは全中、国体の実施、それらに取り組もうとしているわけであります。特に全中、国体につきましては、ご存じのとおり、日本スポーツ振興センターからの巨額な助成金、そして群馬県からも今までにない助成金をもらって実施するものであります。

また、それらを確実に実現していかなければなりませんし、またご存じのとおり、椎坂峠がもうじきトンネルが開通いたします。これは11月中に開通予定となっておりますけれども、私はこの椎坂トンネルの次は金精峠と位置づけて、7年前からそれに向けて鋭意努力をしてまいりました。そうした結果、今年4月10日に、日光市長がようやくこの金精峠の年間開通で合意をし、それぞれのお願いをしてまいったところでもあります。この問題は30年以上、日光市長の合意が得られなかったということをぜひ理解していただきたいと思います。片品村で幾ら県に訴えても、お願いしても、やはり隣の日光市長の同意が得られなければ、金精道路は完成するものではありません。そうしたことで、この金精道路の年間開通も着実に実現をしていきたい、そのように考えております。

また、ご存じのとおり尾瀬の諸問題もあります。そういったものも解決をしていかなければなりません。

私はこれからも、行財政改革を進めつつ、そして日本一優しい、人に優しい村と言われたこの村が、これからも人に優しい村であり続けられるように、そして行財政改革を含め、低負担高福祉の村政運営に取り組んでいきたい、そのように考えております。

よろしく願いいたします。

7番（今井 功） はい、議長。

議長（飯塚美明） 7番 今井功さん。

7番（今井 功） ぜひ、村民のためによい政治を続けていただきたいと思います。

以上で質問を終わります。

議長（飯塚美明） ほかに質疑ございませんか。
（「進行」と呼ぶ者あり）

議長（飯塚美明） 質疑なしと認めます。
次に、特別会計について、質疑を行います。
質疑は、ありませんか。

10番（笠原耕作） はい、議長。

議長（飯塚美明） 10番 笠原耕作さん。

10番（笠原耕作） はい、10番。

むらづくり観光課長にお聞きいたします。

当初の請願内容では、オグナススキー場第3クワッドリフトは修理不可能ということで、架け替えの必要があるということで今まで来ております。ただ、前回の全員協議会の席上、既存の第3クワッドリフトの修理が可能ではないかとの発言がありました。その後、メーカーとの折衝状況はどのように推移しているのか、お聞かせください。これが1点です。

2点目、前回、全員協議会での説明では、撤去の費用が多額になるため、現状の状況で考えているとの発言があったと記憶しておりますが、今冬のシーズンは現状のまま放置するのか。そういった場合については、スキー場利用客には、設置してあるのに使用できないということのほうが集客にはマイナスに働くということで、張りぼての虎を置いておくような形になると思いますので、その辺について、2点お聞かせいただきます。

議長（飯塚美明） むらづくり観光課長 木下浩美さん。

むらづくり観光課長（木下浩美） それでは、ただいまのご質問にお答えをさせていただきます。

まず、第1点目でございますけれども、メーカー等とどのようになっているかというご質問でございますけれども、現時点では、安全上問題があり、運行はできないということで指定管理者より聞いているということは、前回お話をしたところでございます。

また、索道メーカーからも、安全に運行ができて、かつシーズン中営業運行に支障がない万全な状態にはできないということが言われました。

したがって、現時点で運行することはできないのかなというふうに考えております。ですので、撤去をし、国に返地することに向けて、今後考えられる様々なことを検討していきたいと、そのように考えております。

次に、2点目の今シーズンに向けての質問でございますけれども、今言いました考えられる様々なこと、今、議員ご指摘のように、その後のことも含めて、ありとあらゆること

を、例えば撤去をして、基礎を取る、緑化をする、そういったこともいろいろ出てきますので、国である林野庁、または索道メーカー、いろいろなところと本当に何が一番どういう方法がいいのかということ、しっかりと検討するということが大事なのかなというふうに考えているところでございます。現時点では、そのような状況でございます。

以上です。

10番（笠原耕作） はい。

議長（飯塚美明） 10番 笠原耕作さん。

10番（笠原耕作） はい、10番。

オグナススキー場については、これは片品村の所有であります。もう少し、曖昧なことで進むのではなくて、当事者意識を持って検討、実行していくということが、今回非常に問われている事項だと思います。今後に向けて、もう少し多くの人に理解を得られるような形でぜひ進めていっていただきたいと、かように思います。

議長（飯塚美明） ほかに質疑はありますか。

11番（高橋正治） はい。

議長（飯塚美明） 11番 高橋正治さん。

11番（高橋正治） 11番、高橋正治。

村長に質問いたします。

先ほど説明がありましたように、このリフトの建設費用につきましては、スノーパル・オグナほたかスキー場のクワッドリフトが老朽化をし、今後運転が不能という前提のもとに、新しいリフトを造るということの確保としての取り組みということですが、再度確認をさせていただきますので、答弁のほどを村長、よろしく願いいたします。

議長（飯塚美明） 村長 千明金造さん。

村長（千明金造） 答弁をさせていただきます。

私は常に村のため、村民のため、どういう方法がいいのか、確実に正しい判断をしてきたつもりであります。そして、これからも、そうした正しい判断をしていく、そのようなつもりであります。

今、木下課長から説明がありましたけれども、同様の考えでありますので、よろしく願いします。

11番（高橋正治） はい。

議長（飯塚美明） 11番 高橋正治さん。

11番（高橋正治） はい、11番。

取り組み姿勢につきましては理解をいたしました。むらづくり観光課長に再度お願いをいたします。

このリフト建設に当たりましては、1億9,500万は多大な費用でございます。もしこれが建設可能になりました暁には、最低限費用の削減をし、最低限の費用でもって取り組んでいただきますようよろしくお願い申し上げます。

議長（飯塚美明） むらづくり観光課長 木下浩美さん。

むらづくり観光課長（木下浩美） ただいまのご質問、ご意見でございますけれども、議会請願の一部採択という趣旨を十分に踏まえて、今、村長のおっしゃったようなことも十分踏まえて対応してまいりたいと、そのように考えておりますので、よろしくお願いをしたいと思います。

議長（飯塚美明） これで質疑を終わります。

これから議案第36号 平成25年度片品村一般会計補正予算（第1号）について、討論を行います。

まず、原案に反対者の討論の発言を許可します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（飯塚美明） 次に、原案に賛成者の討論の発言を許可します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（飯塚美明） これで討論を終わります。

これから、議案第36号 平成25年度片品村一般会計補正予算（第1号）について採決します。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（飯塚美明） 異議なしと認めます。

したがって、議案第36号 平成25年度片品村一般会計補正予算（第1号）について

は、原案のとおり可決されました。

議長（飯塚美明） これから、議案第37号 平成25年度片品村営観光施設事業特別会計補正予算（第1号）について、討論を行います。

まず、原案に反対者の討論の発言を許可します。

議長（飯塚美明） 暫時休憩します。

午前10時16分

午前10時17分

議長（飯塚美明） 休憩前に引き続きまして、会議を再開いたします。

議長（飯塚美明） 繰り返します。

議案第37号 平成25年度片品村営観光施設事業特別会計補正予算（第1号）について、討論を行います。

まず、原案に反対者の討論の発言を許可します。

10番（笠原耕作） はい、議長。

議長（飯塚美明） 10番 笠原耕作さん。

10番（笠原耕作） 10番。

昭和37年度以降、片品村の観光産業、あるいは地域の雇用を多く生み出してきました、また地域経済を牽引してきたところのスキー場事業でございます。

今回、この民間スキー場事業者5社のオーナーが、オグナススキー場におけるリフト新設についての意見書を提出されております。内容につきましては、公営民営を問わず、この業界の置かれておりますところの厳しい状況下のもとでも、生き残りをかけている現状が記されていると思います。その中の1社は、今冬のスキー場営業は休業に追い込まれております。このような中で、今回のオグナススキー場のリフト新設の設備投資であります。民間事業者からいたしますと、公正な競争環境ではないとのことで、昨日のオーナーとの意見交換会でも、強く切実な訴えをされております。

こういった中で、年間の売上高を上回るほどの投資額を今回されるわけですが、私は、スキー場オーナーの意見を重く受け止めまして、もう少し検討をする時間が必要ではないかと思ひまして、今回、この案については反対をさせていただきます。

以上です。

議長（飯塚美明） 次に、原案に賛成者の討論の発言を許可します。

1番 星野栄二さん。

1番（星野栄二） 1番。

私は、議案第37号 平成25年度片品村営観光施設事業特別会計補正予算（第1号）に対し、賛成の立場から討論いたします。

この件は、本年2月25日に議員による村内のスキー場視察で、スノーパル・オグナほたかスキー場へ行ったとき、指定管理者である武尊山観光開発株式会社の遠藤社長を初め、林所長より、第3クワッドリフトが数年前から故障続きで、営業に支障が出ていて、使用不能となれば、スキー場の中でも魅力的な多くのゲレンデが使えなくなり、上部の第5、第6リフトに行く輸送手段がなくなり、営業不能になるという説明が私たち議員にありました。

皆さんご承知のとおり、オグナほたかスキー場は、昭和50年に我々の先輩が村の観光振興のために村営スキー場としてオープンして以来、37年間営業しており、平成20年からは村での直接的な営業にピリオドを打ち、スキー場経営のノウハウを持つ武尊山観光開発株式会社に指定管理者として委託し、本村の基幹産業の1つである観光産業の一翼を担っておる村有のスキー場でもあり、企業努力で収益も上げており、村の直接的な経営をしているときよりも実質的な出費は減っています。

スキー場が営業不能になると、武尊地区の観光振興に大きな影響を与える懸念があります。

また、事故が発生すれば、村有スキー場としての責任は重く、武尊地区のスキー場周辺には村民が経営する民宿、ペンション、土産店、村営の花の駅があり、村内からも、冬季雇用は60人余り、食材等の取引業者は30軒に及び、取引額も5,000万以上とこのことです。2012年シーズンは、入り込み客数7万3,000人、売上高1億9,000万であります。

3月1日に、指定管理者である武尊山観光開発株式会社から議会議長宛てに、第3クワッドリフト架け替えに関する請願が出されました。議会運営委員会で3月11日の観光産業常任委員会に付託されました。委員会審査で、委員の皆さんが慎重に審査を行いました。ご承知のとおり、施設の老朽化が進み、さらには索道メーカーが事業から撤退するなど、部品の調達も困難で、運行停止を余儀なくされている状態です。

請願の参考資料の中に、建設費が1案から5案までありました。1案が約9億、第5案が2億2,000万でありました。この請願の内容は、第3クワッドリフトの架け替えを希望するというものでした。既存の有効利用を図ったとしても、参考資料によりますと、約6億5,000万の費用が掛かるという内容でございました。

委員会の結論といたしましては、この趣旨には十分理解ができると。しかしながら、本村では、全中及び国体の開催、小学校の統廃合に向けた校舎の建設、中学校の耐震化、老朽化した橋の補強や建設など、多くの予算が必要なことが目に見える中、厳しい財政状況を考える中、極力費用の掛からない第5案を基本とした輸送手段を今シーズン、来シーズ

ンに間に合うように対策をとることが望ましいということで、委員会として一部採択といたしました。そして、3月議会におきまして、議員全員の賛成をいただき、当局に引き継ぎました。

今回の議案第37号は、委員会の趣旨に沿った内容であり、ましてや費用面においても出費も抑えられ、ベストではないが、ベターな選択ではないかと考えております。

また、片品村が株式会社として考えるときに、無駄な出費や不採算部門の切り捨てなどをやることは当たり前のことでもあります。やめる勇気、やる勇気があるなら、将来の片品村の観光のあり方を考えるときに、スキー人口の減少や少子高齢化が進む中、今後、全村的な議論が必要であることはもっともです。切磋琢磨し、協力し、創意工夫して進むことも大事だと思っています。どうか議員の皆さん、村の観光振興や村民の雇用を考慮して、ご賛同いただくことを深くお願いをいたしまして、賛成の討論といたします。

議長（飯塚美明） 次に、原案に反対者の討論の発言を許可します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（飯塚美明） 次に、原案に賛成者の討論の発言を許可します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（飯塚美明） これで討論を終わります。

これから、議案第37号 平成25年度片品村営観光施設事業特別会計補正予算（第1号）についてを採決いたします。

この採決は起立によって行います。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立をお願いいたします。

（賛成者起立）

議長（飯塚美明） 起立多数です。

したがって、議案第37号 平成25年度片品村営観光施設事業特別会計補正予算（第1号）については、原案のとおり可決されました。

着席ください。

日程第4 閉会中の継続調査の申し出について

議長（飯塚美明） 日程第4、閉会中の継続調査申し出についてを議題といたします。

各常任委員長から会議規則第35条の規定により、お手元にお配りしました申出書のとおり閉会中の継続調査の申し出があります。

お諮りします。

委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることにご異議ありませんか。
(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(飯塚美明) 異議なしと認めます。

したがって、委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

日程第5 字句等の整理委任について

議長(飯塚美明) 日程第5、字句等の整理委任についてを議題といたします。

お諮りします。

本定例会で議決された事件について、その字句及び数字等の整理を要するものについては、会議規則第45条の規定により、その整理を議長に委任されたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(飯塚美明) 異議なしと認めます。

したがって、字句及び数字等の整理は、議長に委任することに決定しました。

これで本日の日程は、全部終了いたします。

議長(飯塚美明) 閉会に当たりまして、一言あいさつを申し上げます。

去る6日に開催されました第5回定例会が、全ての案件を議了し、ここに閉会の運びとなりました。

定例会中、議員の皆様には熱心なご審議を賜り、厚くお礼を申し上げます。

また、執行部の皆様には、審議のためにご協力を賜り、心から感謝を申し上げる次第でございます。

議員各位におかれましては、閉会後におきましても、諸行事や委員会活動を初め何かとご多忙のことと存じますが、暑さに向かう折、健康に留意されまして、ご活躍されますことをご祈念申し上げまして、閉会のあいさつといたします。

議長(飯塚美明) この際、村長からあいさつの申し出がありますので、許可します。

村長 千明金造さん。

(村長 登壇)

村長(千明金造) 閉会に当たりまして、一言お礼のあいさつを申し上げます。

議員各位には、6月6日から本日までの8日間、契約の締結、一般会計、特別会計補正予算、繰越明許費計算書の報告、人事案件等を慎重にご審議いただき、全議案につきまし

てご認定をいただき、まことにありがとうございました。

この間におきましても、いろいろなご意見やご提案をいただきましたことや、ご指導を賜りましたことは、今後の行政執行に当たり十分考慮して努めてまいりたいと考えております。

夏の観光シーズンに入りまして、尾瀬の山開きを初めとして、昨日は武尊山、20日には白根山、そして7月1日には至仏山の山開きが予定されています。今シーズンも多くのお客様に訪れていただくことを期待するものであります。

農業も大変忙しい時期となりましたが、天候に恵まれ、順調に生育し、昨年以上の成果となるよう願っております。

先月末には、関東地方も梅雨入りの発表がありました。これからしばらくうっとうしい日が続くと思いますが、議員各位におかれましては、健康に十分ご留意され、議会活動にご活躍くださいますようお願いを申し上げて、閉会に当たりましてのお礼のあいさつとさせていただきます。

大変ありがとうございました。

議長（飯塚美明） 以上で会議を閉じます。

平成25年第5回片品村議会定例会を閉会といたします。

ご苦労さまでした。

午前10時30分 閉会